

平成29年度事業報告

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

特定非営利活動法人

鳥取県障害者就労事業振興センター

1. 事業の概要

障がい者が地域で自立して生活するための最低収入の確保を目指した工賃向上や障がい者の就労意欲、スキルの向上を図るために、会員事業所が組織基盤の充実と就労支援事業を確立させ、事業所自体の経営安定が図れるよう、以下の事業を実施した

- (1) 事業所ステップアップ事業
- (2) 人材育成事業
- (3) 会員事業所相互の共同受発注事業
- (4) 工賃向上環境強化事業
- (5) とっとりモデルの共同受注体制構築事業
- (6) アッセンブリー工場運営事業
- (7) 農福連携ごきげんマルシェ開催事業

2. 事業の実施に関する事項

(1) 事業所ステップアップ事業

【事業内容】

① 研修会「必ずできる！平均工賃30000円！実践編」の実施

平成29年7月8日（土）：湯梨浜町立ハワイアロハホール

講師：株式会社FVP 代表取締役 大塚由紀子氏

参加者：26名（就労継続支援B型、企業、行政等）

② 事業所ステップアップ勉強会

*実施なし

【成果等】

- ・事業所の課題等整理の方法等学び、中長期を見据えた事業展開への気づきとなった
- ・目標工賃設定と具体的な取り組み方を学ぶことで、実践へと結びつけることができた
- ・参加者同士、情報や課題の共有ができた

【課題等】

- ・研修会后、ステップアップ勉強会を計画していたが実施できなかった
- ・研修会后のフォローアップ、検証が不十分

(2) 人材育成事業

【事業内容】

① ワークショップ「職場のチームワーク向上に役に立つWS」の実施

米子会場：平成29年10月3日（火）西部福祉保健局 中会議室 11名参加

鳥取会場：平成29年10月4日（水）鳥取県福祉人材研修センター 6名参加

② 経営力向上セミナー「マネジメントゲームセミナー」の実施

平成30年1月19日（金）20日（土）：ヴィレステひえづ

講師：(株)パーソナル技研 代表取締役 吉富和育氏

参加者：14名（就労継続支援B型、企業、団体等）

【成果等】

- ・ 経営者、リーダー等それぞれの職種に合わせた研修の実施ができた
- ・ 理念、目的を明確にし、それをいかに共有し、実践するかゲームを通じた形で学べた
- ・ 全体研修後、単体事業所への出前研修を実施し横展開に繋がった

【課題等】

- ・ 研修に参加できる事業所体制づくり
- ・ 魅力ある研修会等の企画運営
- ・ 研修会後のフォローアップの実施（少人数継続勉強会の検討）

(3) 会員事業所相互の共同受発注事業

【事業内容】

① 会員事業所共同による事業の企画/実施

- ・ 大山どりびっくり市販売促進会：加入事業所10カ所
月1回販売会の実施、延べ54事業所
- ・ よりよい暮らしのために企画制作委員会：印刷関係事業所
冊子の発行「よりよい暮らしのために2017年度版の発行」
発行時期：10月、発行部数：6,300部
- ・ から揚げ世界一挑戦プロジェクト（株大山どりと協働）：西部地区事業所5事業所
実施日：平成29年8月27日（日）
内容：「から揚げ世界一」に挑戦 5事業所（利用者19名、スタッフ5名）が挑戦
販売出店 8事業所

② その他共同販売の実施

- ・ 上島プロパン感謝祭：平成29年6月3・4日（土日）2事業所出店・3事業所委託販売
- ・ 鳥取県庁地下売店販売：通年、延べ54事業所出店
- ・ 夢みなとタワーでの販売（春・夏イベント）
 - * 「ダンボール遊園地」平成29年3月18日～5月7日の土日祝：4事業所10日出店
 - * 「サメの海とサンゴ礁の水族館」平成29年7月15日～8月20日の土日祝
4事業所11日出店
- ・ NOK(株)社内販売会：2回実施（平成29年7月20日、平成30年2月15日）延べ4事業所出店
- ・ その他、各種イベント・バザーの情報収集と出店案内及び集約等
お菓子の壽城感謝祭、青山剛昌ふるさと館露店出店、米子産業人材育成センター
祭り、いきいき浜っ子祭りフリーマーケット、秋の交通安全運動関連イベント

③ 島根県障がい者就労事業振興センターとの連携

- ・ 全国ナイスハートバザール（松江市）への協力、出店
 - * 事前打ち合わせ（7月）
 - * 出店：平成29年11月8日～12日 鳥取県ブースとして出店 7事業所 31アイテム
- ・ 経営力向上セミナー「マネジメントゲームセミナー」の共同主催【再掲】

【成果等】

- ・ 年間を通して定期的な販売ができる企画は事業所参加数、売り上げとも伸びている傾向にある
- ・ 今年度単発だったが「から揚げ世界一挑戦」はマスコミ等の取材も受け、利用者のモチ

バージョンアップに繋がり、福祉の枠を超えた地域と連動した取り組みができた

【課題等】

- ・企画段階からより多くの会員事業所の参画
- ・一過性でなく、継続した取り組みの中で多くの事業所の参画を募る
- ・中部・東部地区への展開
- ・幅広い事業所が展開できる企画づくり

(4) 工賃向上環境強化事業

ア 事業コーディネート事業

【事業内容】

①日本財団工賃向上モデル事業活用促進支援

- ・事業所プロデュース・コンサルティング
モデル事業申請に向けた計画等支援のための訪問：5 事業所延べ 90 回
その他モデル事業申請のための関係団体との協議：3 カ所 9 回、先進地視察同行
モデル事業実施事業所へのフォローアップ訪問：9 事業所 115 回
モデル事業実施事業所への専門家派遣：1 事業所 2 回、先進地視察研修同行
その他、関係各所との調整、情報収集及び提供の実施：随時
- ・スタッフのコーディネートカススキルアップ
外部研修会の参加（HACCP 導入セミナー・販路拡大セミナー他）：4 回
- ・日本財団との調整
プロジェクト担当者との協議：延べ 4 回
事業所ヒヤリングの設定：4 案件 延べ 5 回

②共同作業場施設外就労促進支援

- ・ワークコーポとっとり（東部）作業参加促進
ワークコーポとっとり見学の実施：6 事業所
ワークコーポ実習調整：4 事業所
参加促進のためヒヤリング訪問：18 事業所
- ・フジオファーム共同作業場（中部）への施設外就労事業所マッチング
フジオファームへの定期情報収集等訪問：24 回
作業実施現場同行：1 事業所 2 回
就業・生活支援センターしらはま視察・意見交換会の参加
- ・御崎共同作業場（西部）への施設外就労事業所マッチング
御崎共同作業場への定期状況確認訪問：13 回
実施に向けた事業所訪問：5 事業所 24 回

③企業等施設外就労促進・受託作業組替促進支援

- ・企業等への受注拡大
企業等への営業 延べ 184 回
- ・事業所とのマッチング
施設外就労企業内作業説明及び実習調整：随時マッチング時現場説明、導入時に実施
事業所への支援等：見積書作成、作業効率向上等について助言等随時実施
マッチング件数（契約成立）：施設外就労 延べ 28 事業所、受注案件延べ 8 事業所

【成果等】

- ・事業所特性に応じて、自主事業展開・施設外就労促進・受託作業組替等の個別対応を実施する

ことができた

- ・モデル事業については計画に沿ってPDCAを回すことで工賃向上に繋がっている
- ・企業等への施設外就労促進では、新規企業開拓することで新たな職域開拓となった

【課題等】

- ・事業所の多様化などにより画一的な取り組みでなく、個々の事業所特性に応じた工賃向上対策が必要である（継続的に実施）
- ・県内全事業所の状況や今後の方向性や特性について事業所と共有しながら一緒に工賃向上の取組を実施できる体制づくり

イ. 販売促進事業

【事業内容】

①販路開拓

- ・関西圏への販路開拓（いしはら商店、greencafe なんば直売所、毎日新聞社等への営業等）
- ・県内への販路開拓（道の駅の状況調査、県内企業と事業所との取引調整等）
- ・展示会、商談会等の情報収集・提供の実施
- ・事業所への商品開発・改良等相談対応

②販売会の実施

- ・ナンバホームセンター鳥取店：平成30年2月15～28日 9事業所商品販売（食品）

③物産展「ごきげんマルシェ」の開催

- ・開催日：平成29年12月2～3日（土日）
開催場所：地場産プラザわったいな内「とりっこ広場」
出店事業所：10事業所（露店、食品販売、雑貨等）

④鳥取県主催イベントへの出店

- ・あいサポート条例フォーラム：平成29年9月16日（日） 2事業所、福祉の店3店舗
- ・手話パフォーマンス甲子園：平成29年10月1日（日）9事業所
- ・あいサポート・アートとっとり祭
平成29年10月7～8日（土日） 9事業所、福祉の店3店舗

【成果等】

- ・県外新規取引先の開拓ができた
- ・県内物産展、県主催イベント等での販売を通して、広く事業所商品等を知ってもらう機会を設けた

【課題等】

- ・一般流通に向けた商品力、販売力強化に向けた取り組みが本年度十分にできなかったため、今後テスト販売、PR販売等実施し、販売店アドバイス、顧客モニタリング等を参考に商品力向上を目指す
- ・単発取り組みにならないよう、事業所の目標達成に必要な仕組みづくり
- ・販売会前後の事前準備、フォローアップ等を実施し、販売の機会を活かす仕組みづくり

ウ. 工賃日本一事業所連絡会の運営

【事業内容】

①事業所情報連絡会の実施

- ・第1回：平成29年6月7日 7事業所参加
内容「H29事業方針と計画について他」
- ・第2回：平成29年9月29日 6事業所参加
内容「あんず・あぷりこ視察及び就労支援フォーラム NIPPON2017 参加について」

②工賃向上モデル事業等情報発信の実施

- ・研修会「こうすればできる！利用者の工賃（給料）アップ」の実施
日時：7月7日 会場：倉吉未来中心
内容：講義「こうすればできる！平均工賃3万円」及びグループワーク
(講師：(株)FVP 代表取締役 大塚由紀子氏)
参加者：27事業所(37名)、センタースタッフ4名
- ・広報の強化
センターSNSにて随時実施
イベント等においてモデル事業実施内容のプレゼン資料の配布

③勉強会の実施

- ・「はたらく NIPPON 計画 ネットワーク会議」(5月9日・日本財団)参加
7事業所、振興センター参加
- ・「いい働く場をつくろう！フォーラム」(11月2日・横浜市)参加
7事業所参加
※鳥取県×日本財団プロジェクトの次世代リーダー育成プログラムを活用

④関係機関との連携等

- ・日本財団担当者との情報共有
- ・行政(県、市町村)との情報共有
- ・圏域の自立支援協議会、就労支援に係る会議等に参加した

【成果等】

- ・日本財団プロジェクト事業を通して、事業所同士の情報交換等連携を図ることができた
- ・研修会を実施し、参加事業所の工賃向上への意識向上に繋がった

【課題等】

- ・会員事業所間の連携体制の強化
- ・工賃向上のけん引役となる活動となるよう本連絡会内容の検討
- ・研修会等実施後のフォローアップの実施

エ. 就労継続支援 A 型事業所経営基盤及び向上支援

【実施内容】

- ①就労継続支 A 型事業所の状況把握
 - ・A 型事業所訪問によるヒアリング：延べ8カ所
- ②事業所への専門家派遣の実施
 - ・1事業所 2回(新しい販路に対応できる製品製造環境の改善)

【成果等】

- ・A 型事業所の状況について、制度改正、報酬改正等にもなう現状を聞き取ることができた
- ・専門家派遣の実施

【課題等】

- ・さらなる A 型事業所の現状と課題の把握
- ・専門家派遣等幅広く使える仕組みづくり

オ.その他

① ‘17 食博覧会・大阪のブース出展

「’17 食博覧会・大阪」鳥取県ブース出展（大阪市）：平成 29 年 4 月 28 日～30 日

内容：農水産加工品の試食 P R ・販売 3 事業所 15 アイテム出店

②スイーツ甲子園参戦事業

※関西大会不参加の為、実施無し

(5) とっとりモデルの共同受注体制構築事業

【事業内容】

ア. ワークコーポととりの運営

作業時間：9:00～17:00

作業内容：封入作業、組立作業、商品セットアップ作業等

参加事業所：12 事業所（増減あり前年同比）

取引企業：22 社（県内外）

①事業所の参加状況

- ・作業稼働時間：1 事業所平均 3～5 時間
- ・作業参加状況：1 日平均 35 名（1 日 8～10 事業所、1 事業所平均 4.5 名）
- ・総支払工賃額：前年比 184%

②取引企業の状況

- ・年間継続受注先（主力 3 社と中心に展開）前年比受注額増
- ・季節受注企業との調整を実施し、ワークコーポとっとり内外で作業を実施
- ・(株)kakeru 業務委託により、アッセンブリー関係企業の取引開始
- ・売上：前年比 189%

③環境整備、安全対策等

- ・アッセンブリー作業企業監査の実施及びそれに伴う改修等の実施
- ・衛生対策（専門業者による定期点検の実施、ごみ等回収の整備）
- ・避難訓練の実施

④生産管理

- ・生産管理マニュアル作成及び運用の実施
- ・事業所の参加人数、日数等に合わせた週、日単位の生産計画の実施

⑤その他事業所との調整等

- ・個別に事業所との連絡調整を実施：随時
- ・参加利用者、職員の健康チェック、衛生管理の徹底

【成果等】

- ・既存取引企業の受注増により、年間売上、支払工賃ともに前年比を大きく上回った
- ・事業所利用者参加人数の増、作業稼働時間時間の増により生産体制が強化された
- ・環境、衛生、生産管理帳票類作成の運用により、環境改善、生産効率が向上した。合わせて、参加事業所担当者の意識向上に繋がった
- ・アッセンブリー作業にて、全国的に有名な大手メーカーの受注を受けることで、利用者の意識向上が見受けられ、働く意識の向上に繋がった
- ・参加される利用者の就労への意欲が向上し、その結果一般就労移行や自立のための一人暮らし

の開始等、地域での自立に繋がった

【課題等】

- ・企業監査対応、帳票類の運用（さらに精度をあげていく）
- ・参加作業所職員への品質向上とスキルアップの他、生産性向上に向けた指示の統一化と作業指示書の明確化
- ・事業所参加人数を1日40名、1日平均5時間の作業稼働を目途に事業所への参画を図る
- ・日平均40名作業を想定した、作業効率の向上、作業環境の改善
- ・ワークコーポととり外（事業所内作業）できる体制づくり
- ・繁忙期、閑散期を想定した受注案件の確保と調整

イ. コンタクトセンターの設置・運営

【事業内容】

①官公需促進のための受発注窓口

- ・官公庁等からの問い合わせ対応（事業所及び製品・サービスの情報提供等）
延べ78件（内訳：官公庁18件、企業等54件、個人6件）

②官公庁等から受注した仕事に対する事業所との連絡調整

- ・上記問い合わせに対し、事業所への連絡調整
- ・受注に繋がった案件：42件

③官公庁等と事業所との取引を円滑に進めるための事業所支援

- ・見積書、サンプルの作成について状況に応じ必要な助言：随時
- ・企業との打ち合わせに同席し現地確認：必要に応じて実施

【成果等】

- ・官公庁及び民間企業・団体等からの受注の促進と円滑化を図るため、ワンストップによる対応を行うコンタクトセンターを設置し、問合せ対応及び受発注調整を実施した
- ・官公需からの発注は印刷関係、清掃（除草）関係の安定的な受注があった
- ・優先調達推進法施行と県共同受注窓口設置後4年間の受発注経緯から、直接、事業所への問合せや発注が増えた
- ・民間企業からの問い合わせが増化した

【課題等】

- ・発注先のニーズを把握し、事前に事業所への情報提供とその対応策について支援を行う
- ・工賃向上環境強化事業との連動による品質および工賃向上に向けて必要な支援を行う
- ・発注側、受け手側のミスマッチを防ぐため、事業所情報（製品やサービスの新規情報等）の収集及び発注側への情報提供

(6) アッセンブリー工場運営事業（日本財団助成事業）

【事業内容】

*アッセンブリー工場作業の運営のため以下の事業を株式会社 kakeru へ業務委託

①受注拡大営業

- ・関西・関東の関係企業への営業活動 約60社
- ・集客サイトの運用支援（情報発信、検索エンジンへのアクセス数増、受注窓口機能他）
- ・ウェブ広告の出稿

②アッセンブリー工場作業実施に必要な生産管理体制の構築

- ・専門家からの品質管理を担保するための工場内監査に向けた指導、帳票類の整備運用指導（延べ3回実施）

- ・帳票類の作成（ワークコーポととりとの共同）：管理要領書 8 種、手順書 17 種
- ・上記帳票類の運用支援

【成果等】

- ・監査等対応帳票類の作成
- ・高品質作業を担保できる衛生管理対策が進んだ

【課題等】

- ・帳票類の運用（監査判定合格ラインへ向けた）
- ・アッセンブリー取引企業からの継続安定した受注

(7) 農福連携マルシェ促進事業（鳥取県委託事業）

【事業内容】

- ①「ごきげんマルシェ 2017」の開催：平成 29 年 9 月 9 日（土）
 - ・会 場：コカ・コーラ・ウエスト・スポーツパーク（鳥取県立布施総合運動公園）
 - ・内 容：「ウォーキングフェスタ」マルシェブースでの販売
 - ・参加事業所：16 事業所（18 ブース）
- ②「ごきげんマルシェ 2017」出店事業所事前打ち合わせ会の開催：平成 29 年 8 月 23 日
 - ・2 会場で実施
東部会場（鳥取県立福祉人材研修センター）、西部会場（鳥取県西部福祉保健局）
- ③商談品評会の開催：平成 29 年 11 月 16 日（木）ファミリープラザ米子
 - ・内 容：企業ブースを設置し、事業所とのワールドカフェ方式による商談を実施。
招聘企業：5 社
出品商品：6 事業所 11 アイテム
- ④商談会に向けた FCP シート作成研修会：平成 29 年 11 月 1 日（水）倉吉未来中心
 - ・内 容：「将来に繋げる商談を目指す～FCP シートの活用法」
講師：シス・プロデ株式会社 代表取締役 庄子千織氏
 - ・参加者：8 事業所 9 名
- ⑤商談品評会後のフォローアップ支援
 - ・内 容：招聘企業への商談フォロー、商品改良支援、視察等同行支援
- ⑥京都ノウフクマルシェへの出展：平成 30 年 1 月 19 日、20 日
 - ・会 場：イオンモール京都桂川 月の広場（京都市）
 - ・内 容：就労支援事業所等の生産、加工された農産物及び農産加工品等の展示販売
 - ・出店事業所：1 事業所
- ⑦アグリフード EXPO・大阪シーフードショー視察：平成 30 年 1 月 19 日、20 日
 - ・会 場：ATC アジア大洋トレードセンター
 - ・内 容：「国産」にこだわり広域に販路拡大を目指す農業者や食品加工業者とバイヤーをつなぐ展示商談会を視察し、商品開発及び自社事業展開等に活用する
 - ・参加者：2 事業所 2 名
- ⑧“農福連携から考える地域のつながりについて”意見交換会の実施

米子会場 日時：2017 年 11 月 20 日（月）：米子市 参加者：6 事業所 8 名
倉吉会場 日時：2017 年 11 月 21 日（火）：倉吉市 参加者：5 事業所 1 行政 7 名
鳥取会場 日時：2017 年 11 月 22 日（水）：鳥取市 参加者：5 事業所 1 行政 2 団体 9 名

 - ・内容（各会場共通）
*農福連携と地域との多様な連携について

*地域面白素材を見つけよう

⑨鳥取県内のモデル事業となりえる事業所及び地域事前視察

- ・内容：農福連携に精通するアドバイザーを招聘し、今後のモデル事業をなる事例等を事前視察の実施 招聘アドバイザー：NPO法人 HUB' S 林正剛氏他
- ・西部圏域視察：平成 29 年 7 月 27, 28 日
 - *関係者との打ち合わせ、現場訪問 2 事業所
- ・西部、中部圏域視察：平成 29 年 10 月 10, 11 日
 - *現場訪問 1 事業所、1 団体、1 企業及び道の駅視察
- ・東部圏域視察：平成 29 年 11 月 21, 22 日
 - *勉強会 地域団体 1 社（地域づくりと福祉連携を検討）
 - *現場視察 1 企業
- ・境港市、八頭町視察：平成 29 年 12 月 21, 22 日
 - *関係団体等打合せ：2 事業所 1 企業、行政

⑩経営力アップセミナーの開催：平成 30 年 2 月 24 日（土）25 日（日）鳥取市

- ・内容：農業者、事業所を対象に今後の農福連携事業として収益が見込め障がい者の継続した仕事づくりとなるよう、経営感覚を磨き、経営計画作成能力向上の基礎を学ぶ
- ・参加者：18 名（8 事業所、その他 5 団体）

⑪その他

- ・平成 29 年度農福連携推進研修会参加：平成 29 年 11 月 8 日（木）松江市
主催者：鳥根県障がい者就労事業振興センター
- ・ノウフクマルシェ視察：開催期間平成 29 年 11 月 9 日（木）10 日（金）松江市
主催：鳥根県障がい者就労事業振興センター

【成果等】

①ごきげんマルシェの開催

- ・16 事業所の出店、農産加工品販売事業所以外の出店もあった
- ・地域イベントと連動した開催により集客が見込めた
- ・本イベントに向け、新たな商品販売の仕方等事業所の工夫が見られた

②商談品評会の開催及びフォローアップ

- ・事前研修→商品品評会→ブラッシュアップ→商談の流れが出来、商談等の成立に繋がった
- ・県外出店、視察を通して積極的に自社事業に反映させていった

③鳥取県内のモデル事業となりえる事業所及び地域事前視察

- ・県外から専門家を招いて、あらたな視点から農福連携をみなすことができた
- ・地域ブランドを発信する中で事業所の継続的、安定的な仕事が創出できることが理解できた
- ・県外の専門家の視点で地域課題の分析、地域の資源の活用を視察し、今後のモデル事業の展開について企画ができた

【課題等】

- ・ノウフクマルシェ（販売）、研修、地域連携等単発開催にならないよう連動性を持つ
- ・障がいのある方の継続的、安定的な仕事の提供と収入の確保ができる仕組みづくりを中長期的な取り組みが必要

(8) その他会議等

①総会の実施：年 2 回（5 月、3 月）実施

② 理事会の実施：年 6 回（5 月、7 月、8 月、1 月、2 月、3 月）実施

③ ビジョン策定委員会の開催

- ・組織、財政部会：3回開催（財政面組織面から現状課題整理し、今後の在り方をまとめる）
- ・中長期事業部会：3回開催（事業所の現状課題等整理し、今後の方向性をまとめる）

④ 研修等の参加

- ・各県センター及び中間支援団体情報交換会 in 香川：2017年11月28～29日 香川県
- ・第19回障害者問題全国交流会 in 広島(福山)：2017年10月19日～20日 広島市

⑤ その他

- ・西部地区就労をすすめる会運営会出席
- ・福祉ふれあいまつり実行委員会出席
- ・農福連携PT出席 他